

幼保小学びのつながりシート



文部科学省
「幼児期の大切な学びが
分かる動画シリーズ」

愛知県幼児教育センター
「幼保小の架け橋プログラム」
の実施に向けて

小学校教育における子どもの姿（例）

各教科・領域の学び

クラスみんなが楽しめるような遊びを考えてお楽しみ会を開く（係活動）

主体的に活動する

どうしたら繰り下がりの引き算ができるか、今まで習ったことを生かして考える（算数）

思考を深める

曲が弾けるようになるために繰り返し練習したり、友達に教えてもらったりする（音楽）

達成感を味わう

自分が作りたい大きさのシャボン玉を作るために繰り返し試行錯誤する（生活科）

粘り強く取り組む

クラスをもっとよくするためにどうすればよいか考える（学級活動）

問題を解決する

友達の話を聞き、つなげたり比べたりしながら自分の思いを伝える（お話タイム）

関わり伝え合う

登場人物の行動を自分だったらどうするか考える（道徳）

相手の立場になって考える

物語のお気に入りのところを自分の言葉で理由をつけて話す（国語）

自分の考えを表現する

ともによりそいはぐくむしあわせ



幼児教育においては、遊びを通して小学校以降の学びの芽生えを培い、小学校では、その学びの芽生えを伸ばしていくことが重要です

黄:生活する力 桃:かかわる力 水色:学ぶ力

児童期につながる育ててほしい10の姿（例）

遊びを通じた学び

① 健康な心と体

充実感をもって活動し、健康で安全な生活を自ら作り出す。

例：お引越しゲーム（チームに分かれて、全ての荷物を運べるか競うゲーム）を行う。



② 自立心

主体的に行動し、諦めずにやり遂げることで達成感を味わう。

例：積み木を積んでタワーを作る。



③ 協同性

友達と協力し、共通の目的を達成する喜びを感じる。

例：土を掘る係、水を運ぶ係など、役割分担して川を作る。



④ 道徳性・規範意識の芽生え

善悪を理解し、相手の気持ちを考える。

例：ルールを守りながら、友達とフープくぐりゲームを行う。



⑤ 社会生活との関わり

身近な人との関わりの中で、自分が役に立つ喜びを感じる。

例：他クラスの部屋のごみを集める。



⑥ 思考力の芽生え

好奇心を持って物事を探求し、「なぜ？どうして？」を考える。

例：ブロックで作った車を転がすために、段ボールで坂道を作る。



⑦ 自然との関わり・生命尊重

自然の不思議さや美しさに感動し、生命を大切にする。

例：かたつむりの家を作ったり、えさをあげたりする。



⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で数や文字に親しむ体験を持ち、活用する楽しさや感覚を持つ。

例：夏野菜の看板を立てるため、本や文字の表を見て絵や文字を書く。



⑨ 言葉による伝え合い

豊かな言葉で表現し、相手の話を聞くことを楽しむ。

例：自分たちで作る夏まつりのイメージを伝え合う。



⑩ 豊かな感性と表現

感じたことや考えたことを音や動きなどで表現する。

例：手形で花火を表現する。

